

入鹿小だより

～わくわく登校・ニコニコ下校～

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 31 年 1 月 29 日
第 20 号

インフルエンザ 入鹿小で猛威をふるう！

今、世間ではインフルエンザが大流行しているとニュースで報じていますが、入鹿小学校でも流行してしまいました。実は発端は校長の私からでした。8日の始業式の後、熱っぽいので念のためにと医院へ行くと「インフルエンザA型」と診断され(40年ぶりです)、その週は週末まで休ませていただきました。15日から復帰し、学校へ戻ったときは高熱の児童もおらず、私から感染した児童はいなかったと一安心しました。

ところが、17日の午後から熱が高い児童が続発し、18日の朝からは高熱で欠席する児童がさらに増えてしまいました。学校医の先生に相談したところ、これ以上の感染を防ぐために学校閉鎖にした方がいいとのアドバイスをいただいたので、19日から21日までを学校閉鎖、患者数の多かった1年生、2年生、さらに週末に発症者が増えた5・6年生は22日まで学年閉鎖とし、23日の水曜日から全学年再開としました。しかし、学校閉鎖中に発症した児童は25日まで学校に来ることはできませんでした。

この間、3・4年生の児童はひとりも発症者がなく、元気に過ごすことができたので、学校閉鎖にした効果があったと思っています。

今週になり罹患者はなくなりましたが、今度はB型が流行するかもしれません。うがい手洗いをしっかりし、感染しないよう気をつけていきたいものですね。(もちろん私自身への戒めでもあります。)

2月の予定

- 1日(金) クラブ活動(4・5・6年生)
- 7日(木) 食育指導
- 8日(金) ALT(英語補助教員)・SC(スクールカウンセラー)来校
- 12日(火) 街頭指導
- 15日(金) 授業参観(5限め)、家庭教育講演会(保護者対象 14:40～)
ALT来校、児童は 14:30 下校
- 16日(土) 土曜授業(人権フォーラム：入鹿中学校にて)
- 18日(月) 保育所との交流会(1・2年)、入鹿中学校入学説明会
- 19日(火) 児童集会
- 22日(金) 委員会活動、ALT来校

水泳記録会

これまでの話の中で何度か登場している通り、マナウスは南緯 2 度のほぼ赤道直下に位置しますので、雨季と乾季の区別はあるものの 1 年を通して、日本でいう「夏」です。したがってマナウス日本人学校の体育の授業は 1 年を通して週 1 時間、水泳の授業がありました。学校には立派な 25m プールがあり、業務員さんたちが月に数回、きれいに掃除までしてくれます。落ち葉がたくさん落ちるので、プールの壁面には掃除機のように葉っぱなどを吸い込める装置までついています。日本の学校よりも立派なプールと言えるかと思います。

記録会では、自由形や平泳ぎ、背泳ぎ（さすがにバタフライはありませんでした）と種目別や、25m、50m と距離別もあります。低学年・高学年に分けてはありますが、個々に得意不得意がありますから、結果は必ずしも高学年がいいタイムになるとは限りません。また、低学年で泳ぎが不得意な児童は、プールの短い辺を使って、15m 競争かつビート板使用可としたこともありました。

ところが、1 年を通して水泳の練習をしていると、上達も早いです。1 年生のときは 25m を泳ぐことができなかった子が、2 年生になると何 m でも泳げ、上級生よりタイムがいいということもありました。

写真からもおわかりのように、当時は飛び込みによるスタートをしていました。学校のプールは浅すぎて底で頭を打つ危険があるため、今では学校管理下のプールでの飛び込みは禁止されています。当時はまだ緩やかでしたので……。今ではどうしているのでしょうかね。

入鹿小学校では、水泳の授業は年間で 4～5 回しかありませんから、上手になるのは当たり前ですね。また、習い事としてスイミングスクールへ通っている子もいましたから、さらに上達します。何事も「繰り返し練習すれば上達する」の見本のような現象です。

ちなみに、マナウスでの習い事の定番は水泳とサッカーです。サッカー教室があるところは、さすがサッカー王国ですね。うちの娘も水泳を習っていたおかげで、初めは顔を水につけるのも嫌がっていたのに、帰国するときにはどこまででも泳げるようになっていました。帰国してから小学校を卒業するまでス

イミングスクールに通っていました。今でも泳ぐことが大好きです。これもマナウスに行っていたおかげのひとつですね。

